

その孫が小学三、四年生の頃、私は我が家の中山を見回りに行くと、山の入口に「山を荒さないで下さい」と孫があつた。

その孫が小学三、四年生の頃、私は我が家の中山を見回りに行くと、山の入口に「山を荒さないで下さい」と孫があつた。

中一杯坦いで出てくる。水が豊富なため柔らかくて美味しいので、その時はぼくも植林活動に参加し温暖化防止のために働きたいと思います。

中一杯坦いで出てくる。水が豊富なため柔らかくて美味しいので、その時はぼくも植林活動に参加し温暖化防止のために働きたいと思います。

有名であった。腹をこわした時は、オウレンの根を一本採つてきて煎じて飲んだ。熱が出てきたときやかぶれて腫れたときも山に行つては薬草の世話をなつた。今はどこを探しても

有名であった。腹をこわした時は、オウレンの根を一本採つてきて煎じて飲んだ。熱が出てきたときやかぶれて腫れたときも山に行つては薬草の世話をなつた。今はどこを探しても

宇宙生命に生かされる

ことを考えて探つてくれれば良いのに手当たり次第根から取るので山が荒れる。孫は入口に縄を張ろうよと言つたが、何処からでも入れるので聞いちゃになかった。子供心に不思議が生じたことだろう。

人類が宇宙を支配しているのではない

日蓮宗北陸教区長・中能登町本土寺住職
法花堂 見英



今年三月に筆者の孫二人がそろって千葉県鴨川市の清澄寺で度牒(どちょう=僧になることの証明書)交付を受けた。右から筆者、小学五年の正光(まさてる)、清澄寺別当、中学一年の正匡(まさただ)、嗣子正全(しょうぜん)さん

植林活動に参加したい

この春中学一年生になつた孫が小学校卒業文集で、「未來の環境」という題で作文を書いている。

「自然を大切に」の共通テーマで、卒業生がそれぞれの思いを綴つた中である。その一節に「ぼくは自然の分野で環境について未来の様子を予測してみました。今は地球上の至る所に森林の伐採や焼き畑で森が減り、工場や自動車から出る排気ガスで酸性雨が降り、地球温暖化が進んでいます。二十年位たら植林活動や林業が今よりもっと行われ、排気ガスを出さなくなると思います。なかでも植林は大切な活動に参加し温暖化防止のために働きたいと思います。」

の毛筆で書いた紙が貼つてあつた。四、五月頃、水ぶき(かた葉)が沢山生育するので毎日のように人が山に入り、背

根つから取り去る無知さ
私が子供の頃、我が山も山が豊富で薬草の山としても

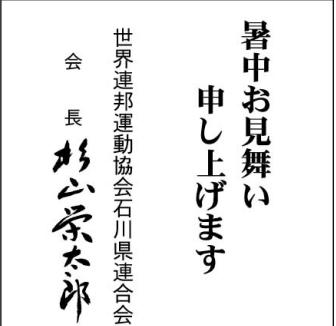


世界連邦石川県連会長
題字は 杉山 栄太郎

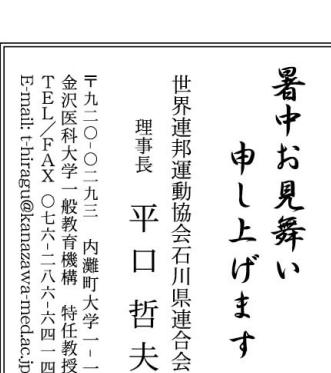
発行所
世界連邦石川編集室
金沢市疋田町八302
千坂保育園
石川県連合会事務局内
☎076-258-1321

発行人
平口 哲夫

うことがマスコミに報道された。山菜の季節でもないのに何人も人が山に入り何かを取つて行く。最初は分からなかつたが、よく見るとアマチャヅルを取つていたのだ。山の持ち主が見ていてもお構いな残してくれればいいのだが、これも根こそぎであつた。秘めておけばいいのかも知れないが、我が山の中に灌漑用と火事に備えて池が掘つてある。十メートル四方ほどだが、そこにサンショウウオが生息している。毎年三月頃に卵を産む。全部解ると相当数になるはずだが、まだ二、三度しか姿を見ていらない。池周辺の何処かに生息していると思う。またこの池の畔に生えている笹竹にモリアオガエルが卵を産んでいる。三年前の大雪で、庭の池に育てていた鯉が山の水が止まり酸欠を起している。モリアオガエルは鯉に子供を食べられ、心配がなくなつたためか、庭の池でも産卵するようになつた。さらに今春、この池に力モノのつがいが飛んできて気持ち良さそうに泳いでいた。わが家の回りは、まだまだ自然が残つている。これ以上荒らさないで、子供や孫へと伝え行きたい。



日本を外に向ければ、地球規模で温暖化が進み、これだけ毎日騒がれていても一向に



〒920-0293 内灘町大学一
金沢医科大学一般教育機構特任教授
TEL/FAX 076-286-6414
E-mail: t-hiraga@kanazawa-med.ac.jp